



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 東海カーボン株式会社

コード番号 5301 URL <http://www.tokaicarbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長坂 一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 松原 和彦 TEL 03-3746-5100

四半期報告書提出予定日 平成29年11月2日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け電話会議）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|--------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年12月期第3四半期 | 75,067 | 13.1 | 7,570 | ー | 8,795 | ー | 8,507 | ー |
| 28年12月期第3四半期 | 66,373 | △17.5 | 470 | △86.7 | 522 | △85.6 | △5,377 | ー |

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 11,728百万円 (ー%) 28年12月期第3四半期 △14,390百万円 (ー%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期第3四半期 | 39.91 | ー |
| 28年12月期第3四半期 | △25.23 | ー |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年12月期第3四半期 | 163,805 | 121,263 | 73.6 |
| 28年12月期 | 158,824 | 112,989 | 69.9 |

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 120,546百万円 28年12月期 110,990百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年12月期 | ー | 3.00 | ー | 3.00 | 6.00 |
| 29年12月期 | ー | 6.00 | ー | ー | ー |
| 29年12月期（予想） | ー | ー | ー | 6.00 | 12.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|--------|-------|--------|-------|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 100,000 | 12.9 | 10,500 | 827.9 | 12,000 | 604.9 | 10,800 | ー | 50.67 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 29年12月期3Q | 224,943,104株 | 28年12月期 | 224,943,104株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年12月期3Q | 11,785,422株 | 28年12月期 | 11,782,847株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 29年12月期3Q | 213,159,087株 | 28年12月期3Q | 213,180,071株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、平成29年11月2日（木）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を電話会議方式で開催する予定です。この説明会の資料は、開催日当日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年1月1日から平成29年9月30日まで）における世界経済は、欧米を中心に全般的に緩やかな持ち直し基調が継続しました。しかしながら、米国の政策運営、中国経済の動向、朝鮮半島の政治情勢、英国EU離脱に係る諸問題等、世界経済をとりまく不確実性は高く、今後の動向を注視していく必要があります。

このような情勢下、3ヵ年中期経営計画T-2018の2年目にあたる当期は、昨年取り組んだ「構造改革」の成果を活かし、成長戦略に軸足を移しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比13.1%増の750億6千7百万円、営業利益は前年同期比大幅増の75億7千万円、経常利益は前年同期比大幅増の87億9千5百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は85億7百万円となりました（前年同期は53億7千7百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）。

セグメント別の業績は下記のとおりです。

[カーボンブラック事業部門]

対面業界であるタイヤ業界、自動車業界ともに堅調に推移し、当社のカーボンブラック事業は前年同期比で販売量増加となりました。また原料油価格変動分の価格改定を実施、海外子会社の売上増とコスト削減等により前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当事業部門の売上高は前年同期比27.2%増の353億6千2百万円、営業利益は前年同期比61.7%増の53億9百万円となりました。

[黒鉛電極事業部門]

黒鉛電極事業は構造的な需給不均衡により、前年同期比で販売価格が下落し売上高は減少しました。一方で販売数量自体は堅調に推移し、コスト削減効果が現出したことなどから前年同期比で増益となりました。

この結果、当事業部門の売上高は前年同期比4.7%減の149億4百万円、営業利益は6億4千4百万円となりました（前年同期は8億2千7百万円の営業損失）。

[ファインカーボン事業部門]

一般産業用市場が堅調に推移、太陽電池、半導体市場も好調を維持しており、黒鉛素材、CVD/CC製品の需要が増加しております。需給バランスはタイトになっており、昨年実施の合理化に加え値上げ効果等により前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当事業部門の売上高は前年同期比8.3%増の106億2千7百万円、営業利益は9億7千5百万円となりました（前年同期は15億6千1百万円の営業損失）。

[工業炉及び関連製品事業部門]

工業炉の売上高は、中国の電子部品業界向けが増加したため前年同期比増収となりました。発熱体その他製品の売上高は、中国の電力インフラ向けが減少したものの、電子部品業界向けの需要が堅調に推移したため前年同期並みとなりました。

営業利益については、工業炉の体質改善並びに中国子会社の収益改善等が寄与し前年同期比増益となりました。

以上により、当事業部門の売上高は前年同期比8.0%増の43億6千5百万円、営業利益は前年同期比84.7%増の8億1千8百万円となりました。

[その他事業部門]

摩擦材

摩擦材の売上高は、対面業界の建設機械・工作機械が中国市場の好調な需要により増産していることで伸長しました。また農業機械向けは北米向けトラクターが増産となり伸長しました。

この結果、摩擦材の売上高は前年同期比12.4%増の63億3千9百万円となりました。

負極材

リチウムイオン二次電池用負極材の売上高は、客先の生産調整の影響もあり前年同期比0.4%減の32億8千1百万円となりました。

その他

不動産賃貸等その他の売上高は、前年同期比36.6%増の1億8千6百万円となりました。

以上により、当事業部門の売上高は前年同期比8.1%増の98億7百万円となり、営業利益は前年同期比51.0%増の6億2千5百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 16,528 | 26,714 |
| 受取手形及び売掛金 | 24,220 | 27,375 |
| 有価証券 | 12,000 | — |
| 商品及び製品 | 7,516 | 7,640 |
| 仕掛品 | 7,886 | 8,804 |
| 原材料及び貯蔵品 | 5,330 | 7,867 |
| 繰延税金資産 | 1,677 | 1,604 |
| その他 | 3,066 | 2,364 |
| 貸倒引当金 | △580 | △537 |
| 流動資産合計 | 77,645 | 81,834 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 12,965 | 12,472 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 20,496 | 19,251 |
| 炉(純額) | 744 | 834 |
| 土地 | 5,747 | 5,726 |
| 建設仮勘定 | 1,214 | 1,741 |
| その他(純額) | 1,953 | 2,055 |
| 有形固定資産合計 | 43,122 | 42,082 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 559 | 603 |
| のれん | 5,604 | 5,556 |
| 顧客関連資産 | 3,612 | 3,590 |
| その他 | 758 | 708 |
| 無形固定資産合計 | 10,534 | 10,458 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 24,377 | 26,323 |
| 退職給付に係る資産 | 1,923 | 1,867 |
| 繰延税金資産 | 564 | 300 |
| その他 | 702 | 1,006 |
| 貸倒引当金 | △46 | △67 |
| 投資その他の資産合計 | 27,521 | 29,429 |
| 固定資産合計 | 81,178 | 81,970 |
| 資産合計 | 158,824 | 163,805 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,471 | 9,827 |
| 電子記録債務 | 2,120 | 2,702 |
| 短期借入金 | 2,894 | 2,131 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 10,016 | 3,763 |
| 未払法人税等 | 841 | 1,187 |
| 未払消費税等 | 356 | — |
| 未払費用 | 1,235 | 1,274 |
| 賞与引当金 | 194 | 725 |
| その他 | 3,897 | 3,855 |
| 流動負債合計 | 29,028 | 25,466 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,137 | 3,104 |
| 繰延税金負債 | 6,037 | 6,935 |
| 退職給付に係る負債 | 3,840 | 4,073 |
| 役員退職慰労引当金 | 92 | 81 |
| 執行役員等退職慰労引当金 | 42 | 34 |
| 環境安全対策引当金 | 473 | 484 |
| その他 | 2,182 | 2,361 |
| 固定負債合計 | 16,806 | 17,074 |
| 負債合計 | 45,834 | 42,541 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 20,436 | 20,436 |
| 資本剰余金 | 17,502 | 17,473 |
| 利益剰余金 | 69,005 | 75,594 |
| 自己株式 | △7,250 | △7,252 |
| 株主資本合計 | 99,693 | 106,252 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,191 | 10,593 |
| 為替換算調整勘定 | 1,356 | 2,994 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 748 | 706 |
| その他の包括利益累計額合計 | 11,296 | 14,294 |
| 非支配株主持分 | 1,998 | 717 |
| 純資産合計 | 112,989 | 121,263 |
| 負債純資産合計 | 158,824 | 163,805 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 66,373 | 75,067 |
| 売上原価 | 54,242 | 55,969 |
| 売上総利益 | 12,131 | 19,097 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,660 | 11,527 |
| 営業利益 | 470 | 7,570 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 43 | 27 |
| 受取配当金 | 317 | 317 |
| 受取賃貸料 | 234 | 109 |
| 持分法による投資利益 | 645 | 953 |
| その他 | 355 | 619 |
| 営業外収益合計 | 1,596 | 2,028 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 337 | 252 |
| 為替差損 | 804 | 86 |
| その他 | 402 | 464 |
| 営業外費用合計 | 1,544 | 803 |
| 経常利益 | 522 | 8,795 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,380 | 2,555 |
| 関係会社清算益 | — | 522 |
| 投資有価証券売却益 | — | 58 |
| 特別利益合計 | 1,380 | 3,136 |
| 特別損失 | | |
| 関係会社株式売却損 | — | 373 |
| 関係会社出資金売却損 | — | 96 |
| 減損損失 | 6,812 | — |
| 特別退職金 | 28 | — |
| 特別損失合計 | 6,840 | 470 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△) | △4,938 | 11,462 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,243 | 2,149 |
| 法人税等調整額 | △838 | 608 |
| 法人税等合計 | 405 | 2,758 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △5,343 | 8,703 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 33 | 195 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△) | △5,377 | 8,507 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △5,343 | 8,703 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,400 | 1,400 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | — |
| 為替換算調整勘定 | △5,812 | 1,741 |
| 退職給付に係る調整額 | △34 | △42 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △799 | △74 |
| その他の包括利益合計 | △9,046 | 3,024 |
| 四半期包括利益 | △14,390 | 11,728 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △14,180 | 11,505 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △209 | 222 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 事業 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3 |
|-----------------------|--------------------|------------|--------------------|---------------------|--------|-------------------|--------|-------------|-----------------------------------|
| | カーボン ブラック 事業 | 黒鉛電極 事業 | ファイン カーボン 事業 | 工業炉及 び関連製 品事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 27,805 | 15,644 | 9,809 | 4,041 | 57,300 | 9,073 | 66,373 | — | 66,373 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 95 | 1 | 69 | 196 | 363 | — | 363 | △363 | — |
| 計 | 27,901 | 15,646 | 9,878 | 4,237 | 57,664 | 9,073 | 66,737 | △363 | 66,373 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 3,282 | △827 | △1,561 | 443 | 1,337 | 414 | 1,752 | △1,281 | 470 |

(注)1 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,281百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,201百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であり

ます。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの区分方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、平成28年を初年度とする3ヵ年中期経営計画「T-2018」の策定とこれに伴う経営管理方針の変更により、事業セグメントの区分方法を見直し、従来「炭素・セラミックス事業」として開示していた報告セグメントを「黒鉛電極事業」と「ファインカーボン事業」へ変更しております。

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をより適切に評価するため、当社の一般管理費の一部について費用の配分方法を変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カーボンブラック事業」セグメントにおいて、収益性が低下したカーボンブラック製造設備並びに当社及び東海炭素(天津)有限公司においてそれぞれ生産設備の1系列閉鎖が決定されたことにより将来使用する見込みがなくなった遊休資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては2,204百万円であります。

「ファインカーボン事業」セグメントにおいて、収益性が低下したファインカーボン製造設備及び経営合理化策により決定された旧式設備の廃棄、休止等により将来使用する見込みがなくなった遊休資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては4,228百万円であります。

上記以外に、各報告セグメントに配分していない全社資産で、売却の決定がされた売却予定資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては380百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 事業 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3 |
|-----------------------|--------------------|------------|--------------------|---------------------|--------|-------------------|--------|-------------|-----------------------------------|
| | カーボン ブラック 事業 | 黒鉛電極 事業 | ファイン カーボン 事業 | 工業炉及 び関連製 品事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 35,362 | 14,904 | 10,627 | 4,365 | 65,260 | 9,807 | 75,067 | — | 75,067 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 44 | 10 | 107 | 191 | 354 | — | 354 | △354 | — |
| 計 | 35,407 | 14,915 | 10,735 | 4,557 | 65,615 | 9,807 | 75,422 | △354 | 75,067 |
| セグメント利益 | 5,309 | 644 | 975 | 818 | 7,748 | 625 | 8,374 | △803 | 7,570 |

(注)1 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△803百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△793百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当社は、平成29年9月28日開催の取締役会において、以下のとおり、SHOWA DENKO CARBON Holding GmbH（昭和電工株式会社が平成29年10月2日付でSGL GE Holding GmbHの全株式を取得し、その名称を変更しております）の保有するSGL GE Carbon Holding LLCの全株式を取得し子会社とする契約を平成29年10月2日に締結することについて決議し、決議のとおり平成29年10月2日付で契約を締結しております。

(1) 株式取得の目的

当社は、現在平成29年2月に新たに公表した3ヵ年中期経営計画「T-2018」のPhase 2に則り、成長戦略に軸足を移した取り組みを進めております。また戦略投資枠として約500億円をM&A等向けに設定しており、既存事業の収益性改善、事業領域拡大を基盤としながら、さらなる企業価値向上を目指しております。

この一環として、当社の主要事業の一つである黒鉛電極事業において、北米生産拠点の取得を通じて、世界最大の電炉鋼市場である北米における当社自身のプレゼンス向上はもとより、アジア・欧州・北米の“3極体制”を築くことで、グローバルプレーヤーの一角として強固な事業基盤の構築を図ること、また、日本における生産の一部を北米に移管することで、グローバル生産体制の最適化及びコスト競争力の強化につなげることを目的としております。

(2) 株式取得の相手先の概要

| | |
|-------------|--|
| ① 名称 | SHOWA DENKO CARBON Holding GmbH |
| ② 所在地 | Werner-von-Siemens-Str. 18 86405, Meitingen, Germany |
| ③ 代表者の役職・氏名 | Klaus Unterharnscheidt, President |
| ④ 事業内容 | 黒鉛電極の製造・販売・研究開発 |
| ⑤ 大株主及び持分比率 | 昭和電工株式会社（100%） |

(3) 株式取得先の概要

| | | |
|---------------------|--|------------|
| ① 名称 | SGL GE Carbon Holding LLC | |
| ② 所在地 | 160, Greentree Drive Suite 101, Dover, DE, USA | |
| ③ 代表者の役職・氏名 | Scott L. Carlton, President | |
| ④ 事業内容（注）1 | 黒鉛電極の製造・販売・研究開発 | |
| ⑤ 規模 | 資本金 100米ドル（平成29年9月28日時点） | |
| ⑥ 当該会社グループの事業規模（注）2 | 決算期 | 2016年12月期 |
| | 純資産 | 56.8百万米ドル |
| | 総資産 | 133.5百万米ドル |
| | 売上高 | 80.8百万米ドル |
| | 営業利益 | ▲13.2百万米ドル |
| | 当期純利益 | ▲26.9百万米ドル |

(注) 1 「④ 事業内容」は当該会社グループの事業内容を記載しております。

2 「⑥ 当該会社グループの事業規模」については、連結指標がないため、当該会社とその子会社の指標を単純合算した値を記載しており、監査法人の監査を受けておりません。

(4) 株式取得の時期

平成29年11月上旬（予定）

(5) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

| | |
|------------|-------|
| ① 取得株式数 | 100株 |
| ② 取得価額 | 129億円 |
| ③ 取得後の持分比率 | 100% |

(注) 「② 取得価額」は現時点で想定される取得価額を記載しておりますが、価格調整の金額により最終的な取得価額は変動することが見込まれます。

(6) 取得資金の調達

自己資金及び金融機関からの借入により調達する予定です。